

(関連するSDGs)



人々の健康に関連する社会貢献活動

■ 田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム

当社は病気に苦しむ患者さんやご家族への支援を行うことも大切な使命であると考え、2012年に「田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」を創設しました。難病患者団体、およびその支援団体の療養、就学、就労等、生活の質(QOL)向上のための活動に助成しています。2018年度は助成金交付総数21団体に支援を行いました。新たに、活動実績が少ないスタート段階にある団体も助成対象とする「スタートアップ助成」を設け、支援の枠を広げました。

2018年10月に開催した2017年度「田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」助成団体(14団体)による助成事業報告会では、お互いの疾患を超えて、活動を行ううえでの課題とその解決策について意見交換がなされました。このプログラムが、皆さんの闘病を支えるとともに、一人ひとりの生きがいや未来に向けた夢や希望を叶えるための一助となることを願い、支援を継続していきます。

2019年度はスタートアップ助成9団体およびプロジェクト助成10団体、合計19団体への支援を行います。

■ 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) への参画

GHIT Fundは、開発途上国の人々を苦しめるマラリア、結核、顧みられない熱帯病などの感染症に対する新薬創出を促進するために、日本発の官民パートナーシップとして設立されました。日本の製薬企業などが保有する高い科学技術の知見を活用した新薬研究開発力によって、グローバルヘルスに対する日本の国際貢献の強化をめざしています。

当社は2015年5月に、GHIT Fundを通して、抗マラリア薬の研究機関であるMedicines for Malaria Ventureに対し、当社の医薬品化合物ライブラリー(5万化合物)を提供し、医薬品になる可能性のある3種類の有望なヒット化合物を同定することができました。さらに共同研究を進め、このうちのひとつより、新規抗マラリア薬候補となる2種類のリード化合物を取得しました。

また、当社は、GHIT Fundの第1期(2013年度~2017年度)活動への資金拠出に続き、第2期(2018年度~2022年度)活動についても、同基金への資金支援を行います。

■ ワクチン支援「せかワクぶっく」への参加

当社グループは、2014年より開発途上国の子どもたちへのワクチン支援活動「せかワクぶっく」に参加しています。「せかワクぶっく」とは、不要となった本・CD・DVDなどを寄付することで、その売却代金が「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付され、六大感染症などのワクチンにかえて開発途上国の子どもたちに届けられる国際貢献活動です。ポリオワクチンは1人分わずか20円。本棚に眠っている本1冊で2人の子どもを救うことができます。

2018年度は、従業員による寄付品の査定額と会社からのマッチングギフト(同額寄付)を合わせて、総額28万9,982円、子どものポリオワクチン1万4,500人分相当となりました。



当社オリジナルポスター

■ 科学技術の発展 財団の支援事業

当社は財団活動に出捐しており、医学・薬学・農学・理学等の幅広い領域で、研究の推進と知識の普及を図り、人々の医療と健康に貢献しています。

公益財団法人先進医薬研究振興財団

1968年に旧吉富製薬の寄付を受けて設立された財団です。医学および薬学に関する先進的な研究の振興を図り、もって国民の医療と保健に貢献することを目的としています。2018年度の助成金交付総数は102件、助成金総額は1億3,500万円です。

公益財団法人日本応用酵素協会

1964年に旧田辺製薬の寄付を受けて設立された財団です。酵素など生命機能の調節・維持にかかわる分子の研究助成の推進を図り、わが国の生命科学分野の発展に貢献することを目的としています。2018年度の助成金交付総数は132件、助成金総額は7,300万円です。